

# 2023年 病院看護実態調査

## 調査票冊子

- (注1) 本冊子は、調査票の内容の確認用です。  
実際の回答は、Excel 版のほうにお願いいたします。
- (注2) 調査専用サイトより本冊子所収の調査票(印刷用 PDF)  
データをダウンロードいただけます。

2023年10月



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 **日本看護協会**



## 2023 年 病院看護実態調査

●この調査は、Excel(エクセル)調査票により行います。

- ・調査票(1種類のExcelファイル)をダウンロードし、回答(記入)終了後、調査専用サイトに再度アクセスし、調査票を送信(アップロード)してください。
- ・実績データをご用意いただく時間に加えて、40分程度の回答時間を要するものと見込まれます。

●該当する質問にご回答をお願いいたします。

- ・ご回答は、該当する選択肢を選択するか、もしくは文字、または数字をご入力ください。
- ・期日や期間の指定のない質問については、2023年10月1日時点の状況をご回答ください。
- ・10月1日時点の状況が把握しづらい場合や、9月1か月分の集計が難しい場合は直近の状況をご回答ください。

### 【実績データ等の準備について】

- ・質問には 職員の入退職人数や、有休取得率等の実績データをお尋ねするものがありますので、必要な実績データを予めご用意ください。
- ・ご不明な点は、調査専用サイトの「よくある質問(FAQ)」のページをご確認ください。

### 【ID・パスワードについて】

- ・記入済みの回答を送信(アップロード)する際は、IDとパスワードをご用意ください。
  - ※ID・パスワードは、依頼状(公文書)と共にお送りした事務連絡に記載されています。
  - ※ID・パスワードは半角で入力ください。
  - ※ID・パスワードは、回答の差し替えのために設定するものであり、病院名が特定されることはございません。但し、調査票内の設問(問 15 SQ2)にて、ヒアリング等の情報収集に「協力する」と回答いただいた場合は、委託業者から日本看護協会に医療機関名・住所が開示されます。
  - ※ID・パスワードは、調査業務の外部委託業者においてのみ管理し、日本看護協会が照会・照合することはありません。
- ・ID・パスワードが分からなくなった場合は、調査専用サイトの「よくある質問(FAQ)」をご確認ください。
- ・IDとパスワードを忘れた方はこちらの URL にアクセスし、再発行手続きをお願い致します。

<https://jmb-svy.com/nursingsurvey2023/>

### 【倫理的配慮について】

- ・本調査は日本看護協会研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認(承認番号:2023-02、承認日:2023年7月4日)されております。
- ・本調査は自由意思によるご協力であり、ご協力いただけない場合にも、不利益が生じることはございません。
- ・ご回答いただきました内容は、本会と個人情報保護(機密保持)の契約を締結している委託業者によって集計され、貴病院を特定できないよう統計処理いたします。



# 2023年病院看護実態調査

## 問1 貴院の概要について伺います。

1) 所在都道府県 [選択は1つ]  北海道 / (中略) /  沖縄県

2) 所在する市区町村の分類 [選択は1つ]  政令指定都市  東京23区  市  町村

3) 設置主体の分類 [選択は1つ]

<input type="radio"/> 国立(労働者健康安全機構、地域医療機能推進機構を含む)	<input type="radio"/> 公益社団法人、公益財団法人
<input type="radio"/> 公立(一部事務組合、地方独立行政法人、公立大学法人を含む)	<input type="radio"/> 私立学校法人
<input type="radio"/> 日本赤十字社	<input type="radio"/> 医療法人(社会医療法人を含む)
<input type="radio"/> 済生会	<input type="radio"/> 社会福祉法人
<input type="radio"/> 厚生農業協同組合連合会	<input type="radio"/> 医療生協
<input type="radio"/> 北海道社会事業協会	<input type="radio"/> 会社
<input type="radio"/> 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、 共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)	<input type="radio"/> その他の法人(一般社団法人、一般財団法人、宗教法人等)
	<input type="radio"/> 個人

4) 許可病床数と内訳 [整数]

許可病床	計	<input type="text"/>	床
(内訳)	①一般病床	<input type="text"/>	床
	②療養病床	<input type="text"/>	床
	③感染症病床	<input type="text"/>	床
	④結核病床	<input type="text"/>	床
	⑤精神病床	<input type="text"/>	床

※設置していない病床については、「0」(ゼロ)と記入してください。

5) 入院基本料の届出の有無 (10月1日時点) [選択は1つ]  届出あり  届出なし ⇒ 7)へ

[5]で「届出あり」と回答した方に伺います

6) 入院基本料の届出又は算定状況 (10月1日時点で届出をしているもの又は9月の1か月間で算定をしているもの)

[①~⑩のそれぞれで選択は1つずつ (該当しないものは選択不要です) ]

※へき地等で複数届け出ている場合は、点数のもっとも高いものを選択

①急性期一般入院基本料	<input type="radio"/> 入院料1 <input type="radio"/> 入院料2 <input type="radio"/> 入院料3 <input type="radio"/> 入院料4 <input type="radio"/> 入院料5 <input type="radio"/> 入院料6
②地域一般入院基本料	<input type="radio"/> 入院料1 <input type="radio"/> 入院料2 <input type="radio"/> 入院料3 <input type="radio"/> 特別入院基本料
③療養病棟入院基本料	<input type="radio"/> 入院料1 <input type="radio"/> 入院料2 <input type="radio"/> 特別入院基本料 <input type="radio"/> 療養病棟入院基本料 注11届出(入院料2の所定点数の100分の75を算定)
④結核病棟入院基本料	<input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1 <input type="radio"/> 18対1 <input type="radio"/> 20対1 <input type="radio"/> 特別入院基本料
⑤精神病棟入院基本料	<input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1 <input type="radio"/> 18対1 <input type="radio"/> 20対1 <input type="radio"/> 特別入院基本料
⑥特定機能病院入院基本料(一般病棟)	<input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1
⑦特定機能病院入院基本料(結核病棟)	<input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1
⑧特定機能病院入院基本料(精神病棟)	<input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1
⑨専門病院入院基本料	<input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1
⑩障害者施設等入院基本料	<input type="radio"/> 7対1 <input type="radio"/> 10対1 <input type="radio"/> 13対1 <input type="radio"/> 15対1

【全員の方に伺います】

7) 特定入院料の届出の有無(10月1日時点) [選択は1つ]  届出あり  届出なし ⇒ 問2へ

【7)で「届出あり」と回答した方に伺います】

8) 特定入院料の届出状況(10月1日時点で届出をしているもの又は9月の1か月間で算定をしているもの) [あてはまるもの全てを選択]

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 救命救急入院料           | <input type="checkbox"/> 地域包括ケア病棟入院料(入院医療管理料)     |
| <input type="checkbox"/> 特定集中治療室管理料        | <input type="checkbox"/> 特殊疾患病棟入院料                |
| <input type="checkbox"/> ハイケアユニット入院医療管理料   | <input type="checkbox"/> 緩和ケア病棟入院料                |
| <input type="checkbox"/> 脳卒中ケアユニット入院医療管理料  | <input checked="" type="checkbox"/> 精神科救急急性期医療入院料 |
| <input type="checkbox"/> 小児特定集中治療室管理料      | <input type="checkbox"/> 精神科急性期治療病棟入院料            |
| <input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室管理料     | <input type="checkbox"/> 精神科救急・合併症入院料             |
| <input type="checkbox"/> 総合周産期特定集中治療室管理料   | <input type="checkbox"/> 児童・思春期精神科入院医療管理料         |
| <input type="checkbox"/> 新生児治療回復室入院医療管理料   | <input type="checkbox"/> 精神療養病棟入院料                |
| <input type="checkbox"/> 一類感染症患者入院医療管理料    | <input type="checkbox"/> 認知症治療病棟入院料               |
| <input type="checkbox"/> 特殊疾患入院医療管理料       | <input type="checkbox"/> 特定一般病棟入院料                |
| <input type="checkbox"/> 小児入院医療管理料         | <input type="checkbox"/> 地域移行機能強化病棟入院料            |
| <input type="checkbox"/> 回復期リハビリテーション病棟入院料 | <input type="checkbox"/> 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料     |

【全員の方に伺います】

問2 2022年度(昨年度)における新型コロナウイルス感染症への対応状況(指定状況)について伺います。

1) 2022年度(昨年度)の指定状況 [あてはまるもの全てを選択]

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 感染症指定医療機関(特定、第一種、第二種、結核含む) |
| <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症重点医療機関         |
| <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関   |
| <input type="checkbox"/> いずれにも当てはまらない               |

【引き続き全員の方に伺います】

問3 2022年度の正規雇用の看護職員(※)の採用・退職の状況について伺います。

※本設問は、「看護職員」全体の採用・退職状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1) 2022年度の看護職員(看護師・保健師・助産師・准看護師)の採用・退職人数等 [整数]

※フルタイム勤務及び短時間勤務の正規雇用職員についてお答えください。(パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等は含みません。) ※該当者がいない場合(新卒者の採用がなかった場合等)は、「0」(ゼロ)と記入してください。 ※同一法人内での人事異動は退職者・既卒採用者に含みません。

	正規雇用の看護職員 (看護師・保健師・助産師・准看護師)
① 2022年度はじめ(2022年4月1日)の看護職員数 ※4月1日付の新規採用者を除いた人数	人
② 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の新卒採用者数	人
③ うち、年度末までに退職した新卒採用者数	人
④ 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の既卒採用者数 ※既卒＝新卒ではない看護職経験者	人
⑤ うち、年度末までに退職した既卒採用者数	人
⑥ 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の総退職者数 ※定年退職者、新卒・既卒採用者の退職者を含む全退職者数	人
⑦ うち、2022年度の定年退職者数	人
⑧ (⑥)のうち、新型コロナウイルス感染症に関連した退職者数(※)	人

看護師の新卒採用者が1人以上いる方はSQ1へお進みください。 ※いない場合は2)へ

※⑧は、新型コロナウイルス感染症対応による労働環境の変化や感染リスク等を理由とした退職者の数

【看護師の新卒採用者が1人以上いる方に伺います】  
 ※看護師の新卒採用者がいない場合は、2)へお進みください。

SQ1 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の**看護師の新卒採用者**について、  
 基礎教育の学校養成所種別の人数をお答えください。〔整数〕

※新卒看護師で大学院卒者の場合は、看護師の基礎教育の種別でお答えください。  
 ※本設問は新卒の「看護師」の退職等の状況を把握するものですので、「准看護師」は含めずお答えください。  
 ※該当者がいない場合(該当校種の採用者がいなかった場合等)は、「0」(ゼロ)と記入してください。

	新卒採用者数 (看護師)	うち、年度末までに退職した 新卒採用者数(看護師)
① 大学	人	人
② 短期大学(3年課程)	人	人
③ 看護師学校養成所(3年課程)	人	人
④ 看護師学校養成所、短期大学(2年課程)	人	人
⑤ その他(5年一貫教育・高等学校専攻科など)	人	人

1人以上いる方はSQ2へ  
 ※いない場合は 2)へ

【看護師の新卒採用者のうち年度末までに退職した者が1人以上いる方に伺います】

SQ2 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の**看護師の新卒採用者のうち年度末までに退職した者**  
 について看護管理者が考える主な退職理由を上位5つまでお答えください。〔選択は5つまで〕

※本設問は新卒の「看護師」の退職等の状況を把握するものですので、「准看護師」は含めずお答えください。

<input type="checkbox"/> 自分の看護職員としての適性への不安	<input type="checkbox"/> 患者・家族との関係(暴言・暴力等)
<input type="checkbox"/> 自分の看護実践能力への不安	<input type="checkbox"/> 上司・同僚との人間関係
<input type="checkbox"/> 医療事故への不安	<input type="checkbox"/> 他施設への関心・転職
<input type="checkbox"/> 健康上の理由(身体的疾患)	<input type="checkbox"/> 他分野(看護以外)への関心・転職
<input type="checkbox"/> 健康上の理由(精神的疾患)	<input type="checkbox"/> 結婚
<input type="checkbox"/> 夜勤の負担が大きい	<input type="checkbox"/> 転居
<input type="checkbox"/> 看護内容への不満	<input type="checkbox"/> 出産・育児
<input type="checkbox"/> 給与への不満	<input type="checkbox"/> 家族の健康問題・介護
<input type="checkbox"/> 教育体制への不満	<input type="checkbox"/> 進学・キャリアアップ
<input type="checkbox"/> 休暇がとれない・とりづらい	<input type="checkbox"/> その他〔 具体的に 〕
<input type="checkbox"/> 超過勤務が多い	

【全員の方に伺います】

2)2022年度の**正規雇用看護職員**(※)の総退職者数が、例年と比べて増加又は減少したか、お答えください。[選択は1つ]

※本設問は、「看護職員」全体の退職状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

 とても増加した
  やや増加した
  変わらない
  やや減少した
  とても減少した

【2)で「とても増加した」又は「やや増加した」を選択した方に伺います】

SQ 人数の増加への新型コロナウイルス感染症の影響をお答えください。[選択は1つ]

 大いに影響している
  やや影響している
  あまり影響していない
  まったく影響していない
  わからない

【全員の方に伺います】

**問4** 新型コロナウイルス感染症発生以降(この1～2年間)における、  
**臨地実習等に影響を受けた新人看護職員(※)への対応について伺います。**

※本設問は、「(新人)看護職員」全体への対応を把握するものですので、「准看護師」に対応したことも含めてお答えください。

1)新型コロナウイルス感染症により臨地実習等に影響を受けた新人看護職員の育成のために、  
教育・訓練の面で強化又は工夫して実施したこと等についてお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

- 
- 技術演習
- 
- 
- 検査や処置の独り立ちまでの技術チェック
- 
- 
- シャドーイング
- 
- 
- 看護基礎教育機関が行う体験学習等の研修
- 
- (新型コロナウイルスの影響に係る看護職員卒業後フォローアップ研修事業など)
- 
- 
- e-ラーニング
- 
- 
- 入職後、配属部署以外での研修
- 
- 
- その他 { 具体的に }
- 
- 
- 特に対応していない
- 
- 
- 新人看護職員はいない

2)新型コロナウイルス感染症により臨地実習等に影響を受けた新人看護職員の夜勤の独り立ちに関して行った  
運用面での配慮等についてお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

- 
- 夜勤帯に一人カウントで配置するまでの期間を長くした
- 
- 
- 夜勤帯の独り立ち後、受け持ち患者数を少数に留める期間を長くした
- 
- 
- その他 { 具体的に }
- 
- 
- 特に対応していない
- 
- 
- 新人看護職員はいない

【引き続き全員の方に伺います】

**問5** 新人看護職員(※)に対するメンタルサポートのために、この1～2年間に実施したこと  
 (従来から実施していることを継続したものを含む)についてお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

※本設問は、「(新人)看護職員」全体に対するメンタルサポートの状況を把握するものですので、「准看護師」に対応したことも含めてお答えください。

- 
- リエゾンナース・公認心理師等による相談・カウンセリング等を実施した
- 
- 
- 心理的負担感を測定する尺度を取り入れて心理状態を把握した
- 
- 
- 業務時間内に新人看護職員が集合できる場(研修等)を確保した
- 
- 
- 新人看護職員対象の研修等の際にリフレクション(振り返り)の時間を確保した
- 
- 
- 新人看護職員が業務時間外に交流できる時間・場所等(オンラインを含む)を確保した
- 
- 
- その他 { 具体的に }
- 
- 
- 特に対応していない
- 
- 
- 新人看護職員はいない





【全員の方に伺います】

問7 正規雇用フルタイム勤務の看護職員(※)の労働条件等について伺います。

※本設問は、「看護職員」全体の労働条件等を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1)就業規則で定められた、1週間あたりの所定労働時間〔整数〕

時間 [ ] 分 [ ]

2)2023年9月の1か月間における、1人あたりの月平均超過勤務時間

※どなたも超過勤務をされなかった場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

時間〔小数点第1位まで〕 [ ]

3)就業規則で定められた週休形態〔選択は1つ〕

○ 週休2日(1週に必ず2日の休日) ○ 月2回週休2日(4週に6日の休日) ○ 週休1日
○ 週休2日(4週に8日の休日) ○ 月1回週休2日(4週に5日の休日) ○ その他(具体的に
○ 月3回週休2日(4週に7日の休日) ○ 週休1日半(土曜日等の半日勤務) )

4)就業規則で定められた所定の年間休日総数

日〔整数又は小数点第1位まで〕 [ ]

※ 週休、国民の祝日、年末年始休暇、夏季休暇、病院創立記念日など就業規則に定める職員の所定の休日の合計(年次有給休暇、慶弔休暇は含みません)

5)2022年度の年次有給休暇の取得率

%〔小数点第1位まで〕 [ ]

※ 取得率=総取得日数/各人の付与日数の総計(前年度からの繰越日数を含まず)×100

【引き続き全員の方に伺います】

問8 正規雇用看護職員(※)の傷病休暇の取得状況等について伺います。

※本設問は、「看護職員」全体の傷病休暇の取得状況等を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1)2022年度の、傷病による連続休暇(7日間以上)を取得した正規雇用の看護職員数(フルタイム又は短時間勤務)〔整数〕

※該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

① 傷病による連続休暇(7日間以上)を取得した正規雇用の看護職員数 … [ ] 人
② ①のうち、メンタルヘルス不調者 …………… [ ] 人

2)2022年度の、メンタルヘルス不調による連続休暇(7日間以上)を取得した正規雇用の看護職員数は、例年と比べて増加又は減少したか、お答えください。〔選択は1つ〕

○ とても増加した ○ やや増加した ○ 変わらない ○ やや減少した ○ とても減少した

【2)で「とても増加した」又は「やや増加した」を選択した方に伺います】

SQ 人数の増加への新型コロナウイルス感染症の影響をお答えください。〔選択は1つ〕

○ 大いに影響している ○ やや影響している ○ あまり影響していない ○ まったく影響していない ○ わからない

【全員の方に伺います】

問9 看護職員(※)の夜勤・交代制勤務について伺います。

※本設問は、「看護職員」全体の夜勤・交代制勤務の状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1) 病棟で採用されている夜勤・交代制勤務の勤務形態 [あてはまるもの全てを選択]

三交代制(変則含む)  
 二交代制(夜勤1回あたり16時間未満) → SQ1・SQ2をお答えください  
 二交代制(夜勤1回あたり16時間以上) → SQ2をお答えください  
 その他 (具体的に )

【1)で「二交代制(夜勤1回あたり16時間未満)」を選択した方に伺います】

SQ1 二交代制の具体的な夜勤時間の長さ(16時間未満)をお答えください。[整数]

時間  分 ※最も多くの看護職員に適用されている時間  
 ※休憩時間を含む

【1)で「二交代制(夜勤1回あたり16時間未満)」又は「二交代制(夜勤1回あたり16時間以上)」を選択した方に伺います】

SQ2 業務開始から終了までが最も長い夜勤帯(二交代制)の勤務時間の長さをお答えください。[整数]

時間  分 ※休憩時間を含む

【全員の方に伺います】

2) もっとも多くの看護職員に適用されている夜勤形態 [選択は1つ]

※回答入力用のExcel調査票では、1)で選択いただいた勤務形態がプルダウンメニューに表示されます。

三交代制(変則含む)  
 二交代制(夜勤1回あたり16時間未満)  
 二交代制(夜勤1回あたり16時間以上)     その他(具体的に )

【1)で「三交代制」又は「二交代制」を選択した方に伺います】

3) 2023年9月の1か月間における1人あたりの月平均夜勤回数(※) [小数点第1位まで]

※平均夜勤回数は、夜勤を行わない看護職員(休業中の者を含む)は対象から除いて計算

三交代制(変則含む)	二交代制(変則含む)
<input type="text"/> 回	<input type="text"/> 回

【全員の方に伺います】

問10 看護職員(※)の夜勤手当について伺います。

※本設問は、「看護職員」全体の夜勤手当の状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1) 看護職員が平日に行う1回あたりの夜勤等に支払っている手当として当てはまるものをお答えください。[選択は1つ]

- 深夜時間帯(22時から5時まで)の割増賃金のみ支給しており、夜勤手当は支給していない
- 深夜時間帯(22時から5時まで)の割増賃金とは別に、定額の夜勤手当を支給している
- 深夜時間帯(22時から5時まで)の割増賃金を含む定額の夜勤手当を支給している
- 上記にあてはまるものはない

【1)で「定額の夜勤手当を支給している」と答えた方に伺います(割増賃金とは別の場合、含まれる場合、いずれも伺います)】

SQ1 支給している定額の夜勤手当について、各勤務帯で最も長い勤務時間に当てはまる金額をお答えください。  
[整数]

三交代制 準夜勤の手当額 …… 1回あたり	<input type="text"/>	円
三交代制 深夜勤の手当額 …… 1回あたり	<input type="text"/>	円
二交代制 夜勤の手当額 …… 1回あたり	<input type="text"/>	円

SQ2 定額の夜勤手当とは別に、夜勤回数に応じた手当の支給はありますか。[選択は1つ]

- ある  ない

【全員の方に伺います】

問11 看護職員(※)の仮眠について伺います。

※本設問は、「看護職員」全体の仮眠の状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1) 夜勤勤務に従事する看護職員1人当たりの仮眠取得時間に関する勤務管理上のルールがありますか。[選択は1つ]

- 院内ルールがあり、明文化されている
- 院内ルールがあるが、明文化されていない(一部明文化している部署がある場合を含む)
- 院内ルールはなく、各部署に任されている

【1)で「院内ルールがある」と答えた方に伺います(明文化の有無にかかわらず伺います)】

SQ1 休憩時間以外に仮眠時間の設定がありますか。[選択は1つ]

- ある  ない

【休憩時間以外に仮眠時間の設定が「ある」とお答えの方に伺います】

SQ2 設定している仮眠時間は何分ですか。

例えば、法定の休憩時間(60分)と合わせて150分の仮眠時間を付与している場合は、法定の休憩時間を除いて「90分」とお答えください。

分 [整数]

【全員の方に伺います】

2) 仮眠専用の個室について伺います。

仮眠専用の個室がある場合は、設備・環境として該当するものすべてを選択してください。[あてはまるもの全てを選択]

※仮眠専用の個室がない場合は「仮眠専用の個室はない」を選択してください。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 仮眠専用の個室はない          |   |
| <input type="checkbox"/> 勤務部署内に設置されている       | <input type="checkbox"/> 清潔な寝具が備えられている          |
| <input type="checkbox"/> 勤務部署から離れた場所に設置されている | <input type="checkbox"/> 適切な硬さのベッドマットレスが備えられている |
| <input type="checkbox"/> 施錠され安全が保たれている       | <input type="checkbox"/> 起床用のアラーム等が備えられている      |
| <input type="checkbox"/> 光や音、振動が遮断されている      | <input type="checkbox"/> 特殊仮眠設備(仮眠カプセル等)を設置している |
| <input type="checkbox"/> 空調がされ、適温に保たれている     | <input type="checkbox"/> 上記にあてはまるものはない          |

【引き続き全員の方に伺います】

問12 看護職員(※)の勤務表作成について伺います。

※本設問は、「看護職員」全体の勤務表の作成状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1)夜勤・交代制勤務を行う部署において、看護職員の勤務表を作成する際の院内共通の作成基準がありますか。  
[選択は1つ]

- 院内共通の作成基準があり、明文化されている  
(勤務表作成支援ソフトウェアに作成時の条件として明示されている場合も含む)
- 院内共通の作成基準があるが、明文化されていない(一部明文化している部署がある場合を含む)
- 院内共通の作成基準はなく、各部署に任されている

【1)で「院内共通の作成基準がある」と答えた方に伺います(明文化の有無にかかわらず伺います)】

SQ 勤務表作成に関する基準に含まれる内容として当てはまるものをお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

- 診療報酬上の基準(看護職員配置や月平均夜勤時間等)を満たすための解説や計算方法等
- 勤務と勤務の間隔は11時間以上あける
- 勤務拘束時間は13時間以内とする
- 夜勤の連続回数は2連続(2回)までとする
- 連続勤務時間の日数は5日以内とする
- 連続夜勤の後は2連休(明け+2連休)
- 少なくとも1か月に1回は、土曜・日曜ともに前後に夜勤のない休日をつくる
- 交代の方向は正循環の交代周期にする
- 夜勤・交代制勤務者の早出の始業時刻は7時より前を避ける
- 夜勤に入る前には完全な1日以上以上の休日がある
- 1か月あたりの所定休日を10日以上とする
- 同じ週に日勤と夜勤を混在させないようにする
- 上記に当てはまるものはない

【全員の方に伺います】

2)勤務表の作成単位についてお答えください。[選択は1つ]

- 1か月未満
- 1か月
- 2か月
- 3か月以上
- その他(具体的に )

3)勤務表を正規に提示する時期について伺います。次回勤務表を何週間前に看護職員に正式に提示していますか。  
[選択は1つ]

- 4週間以上前
- 2週間以上4週間未満
- 1週間以上2週間未満
- 1週間未満

【引き続き全員の方に伺います】

問13 貴院の看護師(※)の月額給与について伺います。

※本設問は「看護師」の給与の状況を把握するものですので、「准看護師」は含めずお答えください。

1)以下の①・②の給与額(2023年度実績)をお答えください。[整数]

※ 設定した条件に該当する個人が実在しない場合は、そのような例を想定して記入してください。

※ 条件に該当する個人が実在し、個人によって給与額に幅がある場合はもとも平均的な例を記入してください。

※ 「税込給与額」には、通勤手当、住宅手当、家族手当、夜勤手当、当直手当、看護職員処遇改善等事業に基づく手当等を含むものとします(時間外手当及び新型コロナウイルス感染症に係る危険手当等は含みません)。

但し新卒者については、家族手当は含まず、単身・民間アパート居住とします。

※ 夜勤をした場合には、当該月に三交代で夜勤8回(二交代で夜勤4回)をしたものとします。

条件		基本給与額	税込給与総額
①今年度採用の新卒看護師の初任給	高卒+3年課程卒	円	円
	大卒	円	円
②勤続10年、31~32歳、非管理職の看護師の給与		円	円

【引き続き全員の方に伺います】

**問14 看護職員(※1)の処遇改善(※2)について伺います。**

- ※1 本設問は、「看護職員」全体の処遇改善の状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。
- ※2 2022年10月から、収入を3%程度(月額12,000円相当)引き上げるための処遇改善の仕組みとして、「看護職員処遇改善評価料」が新設されました。看護職員処遇改善評価料の対象医療機関は、次のいずれかに該当することとなっています。
  - イ. 救急医療管理加算に係る届出を行っている保険医療機関であって、救急搬送件数が年間で200件以上であること。
  - ロ. 「救急医療対策事業実施要綱」(昭和52年7月6日 医発第692号)に定める第3「救命救急センター」、第4「高度救命救急センター」又は第5「小児救命救急センター」を設置している保険医療機関であること。

1) 貴院は「看護職員処遇改善評価料」(上記参照)の対象医療機関ですか。[選択は1つ]

対象医療機関である ⇒ 問15へ     対象医療機関ではない

【1)で「対象医療機関ではない」を選択した方に伺います】

2) 貴院では、2022年10月以降、基本給又は手当の引き上げ(定期昇給を除く)を行いましたか。[あてはまるもの全てを選択]

基本給の引き上げを行った ⇒ SQへ

手当の引き上げを行った ⇒ SQへ

いずれも行っていない

【2)で「基本給の引き上げを行った」「手当の引き上げを行った」のいずれか、又は、両方を選択した方に伺います】

SQ 基本給又は手当の引き上げ(定期昇給を除く)を行った理由としてあてはまるものをお答えください。  
[あてはまるもの全てを選択]

例年、一定程度のベースアップを行っているため

国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表が改正されたため(2022年11月18日改正、2023年4月施行)

他の医療機関で、看護職員処遇改善評価料により処遇改善が図られることへの対応として

急速な物価高への対応として

その他 [ 具体的に ]

【引き続き、1)で「対象医療機関ではない」を選択した方に伺います】

3) 国家公務員医療職俸給表(三)の級別標準職務表の改正(2022年11月18日改正、2023年4月施行)への対応状況について伺います。

国家公務員医療職俸給表(三)の見直しを契機に実施した(着手を含む)内容にあてはまるものをお答えください。  
[あてはまるもの全てを選択]

副看護師長・主任などの看護師長を補佐する中間管理者ポストの新設

副看護師長・主任などの看護師長を補佐する中間管理者ポストの増員

看護師長の処遇改善

専門看護師・認定看護師の処遇改善

特定行為研修修了者の処遇改善

管理職ではない熟練の看護師の処遇改善

上記以外の賃金制度の抜本的な見直し

その他 [ 具体的に ]

何も実施していない



【全員の方に伺います】

**問15 看護職員(※)に適用される賃金制度について伺います。**

※ 本設問は、「看護職員」全体の賃金制度の状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

1) 日本看護協会は、看護職員の賃金について、働くことへの評価の仕組みやこれと連動する賃金制度のあり方についての考え方をまとめた「看護職の賃金モデル」を公表(2016年)し、これをわかりやすく解説した小冊子『看護職のキャリアと連動した賃金モデル～多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇～』(2018年)を発行しています。この「看護職の賃金モデル」の内容をご存知ですか。[選択は1つ]

詳しく知っている  ある程度知っている  聞いたことはあるが内容は知らない  聞いたことがない

2) 貴院では看護職員の抜本的な賃金制度の見直し(「複線型等級制度」※の導入等)に取り組んでいますか。[選択は1つ]

※「複線型等級制度」とは、複数のキャリアのコースに能力や職務、役割等に応じた等級区分を組み合わせた賃金制度

すでに実施済みであり当面次の見直し予定はない  時期は未定だが見直しが経営課題となっている  
 現在見直しを行っている  現時点では見直しは経営課題となっていない  
 具体的な見直しの予定がある  わからない  
 近い将来の見直しが検討されている

【2)で「すでに実施済みであり当面次の見直し予定はない」「現在見直しを行っている」「具体的な見直しの予定がある」「近い将来の見直しが検討されている」のいずれかを選択した方に伺います】

→ SQ1 見直しを検討・実施するにあたって、日本看護協会が作成している「看護職の賃金モデル」(2016年公表)や『看護職のキャリアと連動した賃金モデル～多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇～』(2018年)を参考にしましたか。[選択は1つ]

した  していない

【2)で「すでに実施済みであり当面次の見直し予定はない」を選択した方に伺います】

SQ2 変更内容や変更に至る過程についてヒアリング等の情報収集にご協力いただけますか。[選択は1つ]

協力する  協力しない

※「協力する」と回答いただいた場合、委託業者より日本看護協会へ医療機関名・住所が開示され、日本看護協会より連絡する場合があります。(この設問以外の匿名性は保たれます。)

【全員の方に伺います】

**問16 看護師長等中間管理職への割増賃金支給について伺います。**

1) 労働基準法上の「管理監督者」に該当しない中間管理職(主任相当職、副看護師長相当職、看護師長相当職など)には、時間外・休日勤務の割増賃金を支払う必要がありますが、「管理監督者」に該当しない中間管理職に対して時間外・休日勤務の割増賃金をどのように支給していますか。[選択は1つ]

時間外・休日勤務の時間数に応じて支給している  
 実際の時間数にかかわらず定額の時間外手当を支給している  
 実際の時間数にかかわらず定額の役職手当に含めて支給している  
 該当者がいない

【引き続き全員の方に伺います】

**問17 看護師への(からの)タスク・シフト/シェアについて伺います。**

- 1) 日本看護協会は、2022年6月に「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」(下記URL参照)を発行しましたが、ご存じですか。[選択は1つ]

[https://www.nurse.or.jp/nursing/shift\\_n\\_share/guideline/index.html](https://www.nurse.or.jp/nursing/shift_n_share/guideline/index.html)

- 活用した  内容を読んだ  発行されたことを知っている  発行されたことを知らない

- 2) 日本看護協会は、2022年11月より「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア」研修(オンデマンド)を実施していますが、ご存じですか。[選択は1つ]

- 知っている  知らない ⇒ 3)へ

【2)で「知っている」を選択した方に伺います】

SQ 「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア」研修の活用状況についてお答えください。[選択は1つ]

- 研修を院内研修で活用している  研修を院内研修で活用していない  
 研修を院内研修で活用することを検討している  どれもあてはまらない

【全員の方に伺います】

- 3) 貴院におけるタスク・シフト/シェア(※)に関する取り組み状況をお答えください。[選択は1つ]

※本設問において「タスク・シフト/シェア」とは

「従来、ある職種が担っていた業務を他職種に移管すること又は他職種と共同化すること」という意味です。  
 本設問は「看護師」への(からの)タスク・シフト/シェアに関連する事項について把握するもので、  
 「准看護師」への(からの)タスク・シフト/シェアは含めずにお答えください。

- 既に取り組みを開始している ⇒ SQ1・SQ2をお答えください  
 検討には着手したが、まだ取組んではない ⇒ SQ5へ  
 取組みも検討もしていない ⇒ SQ5へ  分からない ⇒ 4)へ

【3)で「既に取り組みを開始している」を選択した方に伺います】

SQ1 **医師から看護師への**タスク・シフト/シェアを実施したことで看護師が行うようになった業務をお答えください。  
 [あてはまるもの全てを選択]

- 特定行為(38行為21区分のすべてまたはその一部)の実施  
 事前に取り決めたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施  
 救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく採血・検査の実施  
 血管造影・画像下治療(IVR)の介助  
 注射、採血、静脈路の確保等  
 カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為  
 診察前の情報収集  
 その他 [ 具体的に ]  
 どれも行ってない

【引き続き、3)で「既に取り組みを開始している」を選択した方に伺います】

SQ2 **看護師から医師以外の医療関係職種への**タスク・シフト/シェアを実施したことで  
 医師以外の医療関係職種が行うようになった業務はありますか。[選択は1つ]

- ある  ない ⇒ 4)へ

【SQ2で医師以外の医療関係職種が行うようになった業務が「ある」と回答した方に伺います】

SQ3 看護師からどの職種にタスク・シフト/シェアを実施しましたか。[あてはまるもの全てを選択]

- 薬剤師  理学療法士  救急救命士  
 診療放射線技師  作業療法士  その他の職種  
 臨床検査技師  言語聴覚士 [ 具体的に ]  
 臨床工学技士  管理栄養士



【引き続き、SQ2で医師以外の医療関係職種が行うようになった業務が「ある」と回答した方に伺います】  
 SQ4 前問で選択した職種にタスク・シフト／シェアした業務の内容をお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

職種	業務内容
薬剤師	<input type="checkbox"/> 薬剤の在庫管理 <input type="checkbox"/> ミキシングあるいは与薬等の準備を含む薬剤管理 <input type="checkbox"/> 入院患者の持参薬の内容確認等薬学的管理 <input type="checkbox"/> 抗がん剤等の適切な無菌調製 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
診療放射線技師	<input type="checkbox"/> 放射線造影検査時の静脈路確保 <input type="checkbox"/> 造影剤の投与 <input type="checkbox"/> 投与後の抜針・止血等 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
臨床検査技師	<input type="checkbox"/> 生理学的検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引 <input type="checkbox"/> 病棟・外来における採血業務 <input type="checkbox"/> 超音波検査時の静脈路確保 <input type="checkbox"/> 造影剤の投与 <input type="checkbox"/> 投与後の抜針・止血等 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
臨床工学技士	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器装着中の患者に対する喀痰等の吸引 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器の設定変更 <input type="checkbox"/> 動脈留置カテーテルからの採血 <input type="checkbox"/> 血液浄化装置の穿刺針等の表在化された動脈もしくは表在静脈への接続 <input type="checkbox"/> 血液浄化装置の穿刺針等を表在静脈に接続時の静脈路確保 <input type="checkbox"/> 血液浄化装置の穿刺針等の表在化された動脈もしくは表在静脈からの除去 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
理学療法士	<input type="checkbox"/> 体位排痰法を実施する際の喀痰等の吸引 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
作業療法士	<input type="checkbox"/> 食事訓練を実施する際の喀痰等の吸引 <input type="checkbox"/> 移動、食事、排泄、入浴等の日常生活活動に関するADL訓練 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
言語聴覚士	<input type="checkbox"/> 嚥下訓練等を実施する際の喀痰等の吸引 <input type="checkbox"/> 嚥下訓練・摂食機能療法における患者の嚥下状態等に応じた食物形態等の選択 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
管理栄養士	<input type="checkbox"/> 食事内容や形態の変更または提案 <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
救急救命士	<input type="checkbox"/> 救急救命処置(入院するまでの間に限る) <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]
その他の職種	業務内容を具体的に お書きください

⇒ 4)へお進みください

【3】で「検討には着手したが、まだ取組んではいない」又は「取組みも検討もしていない」を選択された方に伺います】

SQ5 タスク・シフト／シェアの取組みを進めるにあたり、何が課題となっていますか。〔あてはまるもの全てを選択〕

- ① 病院長等の管理者の意識改革・啓発
- ② 医療従事者全体の意識改革・啓発
- ③ タスク・シフト／シェアを受ける側の医療関係職種の知識・技能の習得
- ④ タスク・シフト／シェアを受ける側の医療関係職種の余力(人員確保等)
- ⑤ タスク・シフト／シェアに関する組織の方針決定や取組み内容を決定する会議体等がない
- ⑥ ⑤の会議体等はあるが看護部門が参加していない
- その他 { 具体的に }

【全員の方に伺います】

4) 貴院における以下の包括的指示(看護師が行うもの)のうち、活用しているものをお答えください。

〔あてはまるもの全てを選択〕

- ① 手順書 (特定行為研修制度に基づくもの)
- ② クリニカルパス (処置・検査・薬剤の使用を含めた詳細な診療計画)
- ③ 上記①・②以外のプロトコル (「対応可能な病態の変化の範囲」「実施する薬剤の投与、採血・検査の内容及びその判断の規準」「実施可能な範囲を逸脱した場合の医師への連絡等」を定めているもの)
- ④ 上記①～③以外の包括的指示 ⇒ SQへ
- どれも活用していない

【4】で「④上記①～③以外の包括的指示」を選択された方に伺います】

SQ 包括的指示の具体的な内容をお答えください。〔あてはまるもの全てを選択〕

- ① 患者を特定した上で、患者の病態の変化の範囲を**定量的**に指定する包括的指示  
例:「血圧180mmHg以上」「血糖値70mg/dL以下」「尿量100mL/ 6時間以下」「SpO<sub>2</sub>90%以下」等の具体的な数値を示し、患者がその状態になった場合に**検査・処置の実施や薬剤の投与等の診療の補助**を行うよう指示するもの
- ② 患者を特定した上で、患者の病態の変化の範囲を**定性的**に指定する包括的指示  
例:数値は用いずに「疼痛時」「不眠時」「発熱時」「便秘時」等の患者の状態を定性的に指定し、患者がその状態である場合に**検査・処置の実施や薬剤の投与等の診療の補助**を行うよう指示するもの
- ③ 患者を特定せず、対応可能な患者の範囲を指定する包括的指示  
(あらかじめプロトコルの作成が必要となる検査にのみ適用することが可能な包括的指示)  
例:救急外来において、看護師が、来院した患者の状態を見極め、あらかじめ作成されたプロトコルの中からその患者の状態に適したプロトコルを選択し、プロトコルに基づき検査を実施する等
- その他 { 具体的に }

【全員の方に伺います】

**問18 看護業務の効率化について伺います。**

1)「看護業務効率化先進事例収集・周知事業」を知っていますか。[選択は1つ]

知っている    名前は聞いたことがある    知らない

2)「看護業務効率化先進事例収集・周知事業ポータルサイト」を閲覧したことがありますか。[選択は1つ]

閲覧したことがある    サイトの存在は知っているが閲覧したことはない    サイトの存在を知らない

3)看護業務の効率化に関する取組みについてあてはまるものをお答えください。[それぞれ選択は1つ]

① 記録の効率化（例：記録の標準化、音声入力などICTの活用）	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない
② 帳票類の整理（例：院内での帳票類の統一）	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない
③ 業務の標準化（例：手順やマニュアルの見直し）	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない
④ 勤務体制の整備（例：繁忙度を可視化し、他部署への応援体制を確立）	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない
⑤ 多職種との連携、タスク・シフト／シェア	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない
⑥ ICTを用いた情報の共有（例：記録やエコー画像の共有）	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない
⑦ ロボットなどを用いた作業の効率化（例：物品運搬ロボット、移乗リフト）	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない
⑧ 勤務表作成ソフトの導入	<input type="radio"/> すでに行っている <input type="radio"/> 関心はあるが現時点での実施が難しい <input type="radio"/> 今後実施予定 <input type="radio"/> 実施するつもりはない

上記以外の取組みがあればお書きください。（該当するものがない場合は空欄のままお進みください。）

- a) すでに行っている取組み .....
- b) 今後実施予定の取組み .....
- c) 関心はあるが現時点での実施が難しい取組み .....




【全員の方に伺います】

問19 正規雇用の看護職員(※)が院外で看護活動(コンサルテーションや研修講師等を含む)を行っている例がありますか。

【選択は1つ】

※本設問は、「看護職員」全体の院外の看護活動の状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

ある    ない    わからない・把握していない

【問19で「ある」を選択した方に伺います】

SQ1 どのような看護職員(正規雇用)が院外で看護活動を行っていますか。[あてはまるもの全てを選択]

専門看護師                       看護管理者  
 認定看護師                       その他の資格取得者 [ 具体的に ]  
 特定行為研修修了者               上記に該当しない看護職員

SQ2 院外での看護活動は、どのような立場で行っていますか。[あてはまるもの全てを選択]

貴院の職員として業務命令・指示のもとに行っている  
 自由意思で私的に行っている

【全員の方に伺います】

問20 正規雇用の看護職員(※1)の副業・兼業(※2)に関する規定がありますか。【選択は1つ】

※1 本設問は、「看護職員」全体の副業・兼業の状況を把握するものですので、「准看護師」も含めてお答えください。

※2 「副業・兼業」：2つ以上の仕事を掛け持つこと。

副業・兼業の許可に関する規定がある  
 副業・兼業を全面的に禁止する規定がある  
 副業・兼業に関する規定はない

【問20で「副業・兼業の許可に関する規定がある」を選択した方に伺います】

SQ1 許可にあたって規定している内容としてあてはまるものをお答えください。[あてはまるもの全てを選択]

副業・兼業の届出があること  
 当院での業務に支障がないこと  
 当院の機密事項が漏洩しないこと  
 当院の名誉や信用を損なう行為、信頼関係を破壊する行為がないこと  
 競業により、当院の利益を害することがないこと  
 その他 [ 具体的に ]  
 特にない

SQ2 副業・兼業を許可する際の判断材料として該当するものすべてを選択してください。[あてはまるもの全てを選択]

副業・兼業先の事業内容               その他  
 担当する業務内容                      [ 具体的に ]  
 副業・兼業の延べ労働時間数               特にない

【全員の方に伺います】

問21 「医療従事者から患者」への虐待防止のための取組みについてお伺いします。  
 「医療従事者から患者への虐待」の予防・発見のための以下のような取組みの実施状況についてお答えください。  
 [それぞれ選択は1つ]

① 患者・家族等からの相談窓口の設置	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
② 病院職員等からの相談・通報窓口(外部又は内部)の設置	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
③ 相談窓口の存在の患者・家族等への周知	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
④ 病院としての虐待に対する基本方針の明確化	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
⑤ 虐待が確認された場合の対処方針・対処方法(フロー)等の規定	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
⑥ 虐待を発生させないための職場環境の整備(労働環境改善、上司によるサポート、その他ストレス軽減策等)	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
⑦ 虐待防止を含めた倫理に関する教育・研修	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
⑧ 虐待防止を含めた倫理に関連した管理者研修	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
⑨ 相談者・行為者等のプライバシー保護のための措置の周知	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
⑩ 外部機関による第三者評価の受審	○ 実施済み ○ 検討又は準備中 ○ 検討予定なし
上記以外の取組みがあればお書きください。(該当するものがない場合は空欄のままお進みください。)	
a) 実施済みの取組み .....	
b) 検討又は準備中の取組み .....	

【引き続き、全員の方に伺います】

問22 貴院の分娩取り扱い状況等について伺います。

1) 貴院は分娩取り扱い施設ですか。[選択は1つ]

はい       いいえ ⇒ 設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【ここからは、分娩取り扱い施設の方に伺います】

2) 周産期に係る病院機能をお答えください。[選択は1つ]

総合周産期母子医療センター       総合周産期母子医療センターと  
 地域周産期母子医療センター      地域周産期母子医療センター以外の病院

3) 昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の貴院の分娩取り扱い件数と、その内訳をお答えください。[整数]

※取り扱いがなかった場合は、「0」(ゼロ)と記入してください。

分娩取り扱い件数	<input type="text"/>	件	
(内訳) ①経膈分娩	<input type="text"/>	件	→ ①経膈分娩のうち、 無痛分娩 <input type="text"/> 件 器械分娩(吸引・鉗子) <input type="text"/> 件 ※「無痛分娩」かつ「器械分娩」の場合は、 それぞれに件数を計上してください。
②帝王切開	<input type="text"/>	件	

4) 昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の貴院における年間の延べ正常新生児数をお答えください。[整数]

年間の延べ正常新生児数  件

※延べ正常新生児数は、1人の正常新生児が例えば  
4日間入院していた場合は、1件ではなく4件と数えてください。

5) 貴院において、正常新生児のケアをするために、どのような助産師配置で管理していますか。[それぞれ選択は1つ]

① 新生児室に助産師を配置している	<input type="radio"/> 該当する <input type="radio"/> 該当しない
② 新生児室の助産師配置の規定がある	<input type="radio"/> 該当する <input type="radio"/> 該当しない
③ 母子を一体的に看ている	<input type="radio"/> 該当する <input type="radio"/> 該当しない
※母と子それぞれに別の担当者がある場合は「該当しない」を選択してください。	

【引き続き、分娩取り扱い施設の方に伺います】

問23 貴院の助産師数についてお答えください。〔整数〕

- ※ 常勤、非常勤の合計をお答えください。
- ※ 実人数をお答えください。
- ※ 該当者がいない場合は、「0」（ゼロ）と記入してください。

（全体の人数）

① 助産師として働いている人数  人

（習熟段階別内訳）

② アドバンス助産師(CLoCMiPレベルⅢを認証された助産師)  人

（配属先別内訳）

③ 産科関連病棟配属(NICU、MFICU、GCU、産科外来を除く)  人

→〔④ (③のうち) 分娩の直接介助を行っている人数  人〕

⑤ MFICU 配属  人

⑥ NICU 配属  人

⑦ GCU 配属  人

⑧ 産科外来配属  人

→〔⑨ (⑧のうち) ③～⑦と兼務している人数  人〕

⑩ 周産期関連以外の部署配属(婦人科、救急、看護部、その他)  人

問24 貴院の産科関連病棟はどれにあてはまりますか。

NICU、MFICU、GCU、産科外来は除いてお考えください。〔あてはまるもの全てを選択〕

- 産科単科病棟
- 産科と婦人科のみの混合病棟
- 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟

【問24で「産科と婦人科のみの混合病棟」「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」のいずれか、又は、両方を選択した方に伺います】

※問24で「産科と婦人科のみの混合病棟」「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」のいずれも選択していない方は、問26へお進みください。

問25 産科区域の特定をしていますか。〔選択は1つ〕

している  していない

【引き続き、分娩取り扱い施設の方に伺います】

問26 貴院の産科関連病棟における産科病床数をお答えください。〔整数〕

産科関連病棟における産科病床数  床

問27 分娩1件あたりの助産師の配置数をお答えください。〔選択は1つ〕

- 常に2名以上配置
- 勤務帯や状況によって1名配置している場合がある
- 常に1名配置
- その他



【引き続き、分娩取り扱い施設の方に伺います】

## 問28 分娩費用について伺います。

1) 広告可能な事項とされている分娩のための費用(※)について広告していますか。[選択は1つ]

※医療法第6条の5第3項第13号に規定

 している     していない ⇒ 2)へ

【1)で分娩のための費用について広告を「している」と回答した方に伺います】

SQ 分娩のための費用について、費用明細に表示している項目はどれですか。[あてはまるもの全てを選択]

- |                                   |                                       |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 妊産婦合計負担額 | <input type="checkbox"/> 新生児介補料       |
| <input type="checkbox"/> 分娩料      | <input type="checkbox"/> 室料差額         |
| <input type="checkbox"/> 分娩介助料    | <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ] |
| <input type="checkbox"/> 胎盤処理料    |                                       |

【引き続き、分娩取り扱い施設の方に伺います】

2) 分娩又は分娩のための費用に関連して妊産婦やその家族に質問を受ける頻度が高いものを3つまで挙げてください。  
[選択は3つまで]

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 貴院の機能に関すること<br>(専門医の人数や専門分野、助産師の有無や人数、緊急性の高い状況に対応できる医療体制の有無、産科以外の診療科の有無など) |
| <input type="checkbox"/> 貴院の運営に関すること(経営主体、開設年など)  |
| <input type="checkbox"/> 貴院のスタッフに関すること(人数や夜間・休日の対応の可否など)  |
| <input type="checkbox"/> 貴院で受けられる分娩サービスに関すること<br>(無痛分娩・院内助産・フリースタイル分娩・ハイリスク出産への対応が可能かなど)            |
| <input type="checkbox"/> 貴院で受けられる分娩に付随するサービスに関すること<br>(病室の環境、母児同室の対応が可能か、沐浴指導の有無など)                 |
| <input type="checkbox"/> 貴院における出産にかかる費用の説明方法<br>※ 説明方法: 費用に係る情報の入手方法(対面説明、リーフレット等)に関する質問の総称         |
| <input type="checkbox"/> 貴院における出産にかかる費用の説明内容<br>※ 説明内容: 費用そのものに関する質問(標準的な出産費用やその内訳等)の総称             |
| <input type="checkbox"/> 貴院における出産にかかる費用の支払い方法   |
| <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]   |
| <input type="checkbox"/> 質問を受けたことがない  |

問29 医療・ケア提供体制として情報を現時点で公開しているものは、次のうちどれですか。[あてはまるもの全てを選択]

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 分娩件数                             |
| <input type="checkbox"/> 帝王切開率                            |
| <input type="checkbox"/> 人員配置(助産師の人数や妊産婦・新生児数に対する助産師配置割合) |
| <input type="checkbox"/> LDRなどの機能                         |
| <input type="checkbox"/> その他 [ 具体的に ]                     |
| <input type="checkbox"/> どれも公開していない                       |

【引き続き、分娩取り扱い施設の方に伺います】

**問30 貴院を受診する妊産褥婦を継続的にサポート・フォローする体制を整備していますか。[選択は1つ]**

している     していない ⇒ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【問30で継続的にサポート・フォローする体制を整備「している」と回答した方に伺います】

SQ 妊産褥婦を継続的にサポート・フォローする方法をお答えください。  
 また、実施しているものについて、その1件あたりの費用(無料の場合は「0」と入力)、および、  
 貴院で受けられる助産サービスとして現時点で貴院ホームページで情報を公開しているかどうかもお答えください。

方法 [あてはまるもの全てを選択]	【実施しているものについて】	
	1件あたりの費用 〔整数〕	ホームページでの情報公開 [それぞれ選択は1つ]
<input type="checkbox"/> 院内助産	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 助産師外来	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 産前学級(母親教室・両親学級)	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 2週間健診	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 母乳外来	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 産後ケア	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 電話訪問 ※施設や助産師側が発信者となって電話による 対象者のフォローアップを行うサービス	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 自宅訪問	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> 電話やメールによる相談への対応	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない
<input type="checkbox"/> その他 ( 具体的に )	円	<input type="radio"/> している <input type="radio"/> していない

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【病院看護実態調査に関する問合せ先】  
 公益社団法人日本看護協会 医療政策部  
 E-mail: byoinchosa@nurse.or.jp  
 TEL: 03-5778-8804  
 担当: 南平、花田、岩澤